

第2回 “泥流地帯”全国高校生朗読甲子園 開催要項

2026/4/1ver.

※本要綱は開催までに幾度かの改訂が想定されますので、公式サイトにて最新版をご確認ください。

- 1 主催 全国高校生朗読甲子園実行委員会
(『泥流地帯』映画化を進める会、三浦綾子記念文学館(旭川市)／上富良野町)
事務局:上富良野町商工観光課(観光班)
- 2 後援 上富良野町教育委員会
- 3 開催趣旨 全国の高校生を対象に三浦綾子著『泥流地帯』『続泥流地帯』の朗読コンクールを実施します。

作品の舞台である上富良野町で背景となった実際の風景や歴史の面影に身を置き身体的体験を伴う朗読を行うことで、通常の読書・朗読体験を超え、作品への理解と深い感情移入を促し、多角的な作品理解の力を養います。

また、上富良野町の郷土史とも言える本作品が若い世代により多く触れられ、読み継がれていくこと、さらに作品テーマでもある「困難に向き合い乗り越える非認知能力の養成の一助となることを期待するものです。

- 4 開催期日 令和8年8月23日(日)

※終了予定時間を含む下記スケジュールは出場者数等に応じて変更する場合があります。

<大会当日> 8月23日(日)	
08:00~08:50	受付
09:00~	開会式、予選
13:00~	講演・朗読デモンストレーション
14:40~	本選(決勝)
15:50~	審査結果発表、表彰、講評
16:10~	閉会式、記念撮影等 (16:40頃終了予定)
17:30~19:00	BBQ 懇親会
<ポストツアー> 8月24日(月)	
8:30~9:00	上富良野町郷土館集合、受付、オリエンテーション
9:00~11:00	ポストツアー 泥流地帯ゆかりの地を巡るバスツアー
11:00~11:30	作品ゆかりのグルメ試食
11:30~	解散

- 5 会場 上富良野町保健福祉総合センター かみん
北海道空知郡上富良野町大町2丁目8番4号
(最寄り駅) JR上富良野駅 (その他)旭川駅から約1時間、札幌駅から約3時間
(最寄り空港) 旭川空港(✈40分～) … 新千歳空港(✈150分～)
- 6 参加資格 高等学校(全日制、定時制、通信制)、高等専門学校またはそれらに準ずる各種
学校に在学中(いずれも三年次まで)の生徒であること。ただし、大会開催年度に
おいて満20歳以下の生徒に限ります。※放送部等在籍の如何は問いません。
- 7 参加費用 無料(本大会、懇親会、ツアー共通)
※会場までの往復航空賃、交通費、宿泊費、食費(当日昼食除く)等については
各自ご負担いただきます。
- 8 参加定員 約30名(学校ごとの申し込み人数は問いません)
- 9 募集(申込)期間
- (1)一次募集 令和8年4月27日(月)から5月31日(日)まで
- ①期間中の応募者数が参加定員を下回った場合…応募者もれなくご参加いただけます。
- ② // 大幅に上回った場合…音声データによる予備審査を行います(詳細11)。
※予備審査免除…過去の本大会における入賞者については予備審査を行いません
- (2)二次募集 一次募集で定員に達しなかった場合 令和8年6月8日(月)から7月15日(水)
まで応募を受け付けます。ただし、募集定員に達した時点で募集を締め切りといたします。
- 10 参加申し込み方法
- (1)WEB フォームによる参加申込
- 学校ごとに参加者をとりまとめ、必ず顧問教諭または学校長の同意の元、申込受付
WEB フォームより各募集期間内に申し込みを行うこと
- (2)朗読場面の報告
- 朗読する章及び節並びに朗読箇所を 8月5日(水)までに事務局へ報告すること。期限
を過ぎる場合は大会準備に重大な支障があるため、失格とさせていただきます。
- 【報告方法】 Eメールにより、該当箇所のテキストまたは該当箇所がわかるよう示され
た画像データなどを添付して送信してください。
- ※件名を「朗読甲子園朗読原稿(学校名)」としてください。また、メール本文に参加
者(朗読者)氏名を明記してください。

11 予備審査

9(1)②の一次募集で応募者が参加定員を大幅に超過した場合に限り、音声データによる予備審査を行います。予備審査を行わないこととなった場合は、6月1日(月)までに大会公式 WEB ページにてお知らせします。

①提出内容	朗読音声(『泥流地帯』冒頭「外は闇だった」～「小高い山も、ただ闇の中だ。」まで(約 340 文字))
②データ形式	MP3(推奨)または WAV。ファイルサイズは10MB 以内。
③提出方法	予備審査を実施することとなった場合、別途お知らせします。
④提出締切	令和8年6月7日(日)
⑤審査及び通知	大会事務局にて審査を行い、令和8年6月12日(金)までにメールで審査結果をお知らせします。

12 審査員 予選4名、決勝審査のみゲスト審査員を加え5名での審査とします。(予定)

<参考/第一回大会審査員>

HBC 旭川放送局長 元アナウンサー 山内 要一様

三浦綾子記念文学館 事務局長 難波真実様

旭川龍谷高等学校 金箱牧夫先生

旭川東高等学校 工藤大輔先生

(決勝のみ) フリーアナウンサー 堀井美香様

13 表彰 ※予選通過者より選考

▽最優秀賞 1名 (トロフィー、賞状、副賞: 図書カード1万円分+上富良野町特産品)

▽優秀賞 2名以内 (賞状、副賞: 図書カード5千円分+上富良野町特産品)

▽入賞 若干名 (賞状、副賞: 図書カード2千円分+上富良野町特産品)

※受賞者については後日報道機関、町広報、町公式ホームページ等にて学校名・学年・氏名及び写真を掲載する場合があります。

※副賞のうち上富良野町特産品については後日の発送となりますので、受賞者は大会後、発送先(学校、自宅等)をご指定いただきます。

14 宿泊、食事の申し込み

宿泊は各自手配のこと。 ※事務局にて周辺宿泊施設の情報提供が可能です。

大会当日の昼食は出場者分のお弁当をご用意します(無料)。引率、ご家族の皆様についてはご希望に応じ別途斡旋(税込1,000円)いたします。

※出場者でアレルギー等配慮が必要な場合は申込時に必ずその旨お申し出ください。

15 事務局

『泥流地帯』映画化を進める会

事務局 上富良野町商工観光課（担当:浦島）

電話 0167-45-6983

（問い合わせ、提出先）

E-mail deiryu@movie-kamifurano.com



<公式 web ページ>

第2回 ”泥流地帯”全国高校生朗読甲子園

<実施要領>

2026/4/1ver.

※本要綱は開催までに幾度かの改訂が想定されますので、公式サイトにて最新版をご確認ください。

1 朗読実施規定

(1)課題図書

三浦綾子著『泥流地帯』または『続泥流地帯』

※いずれも新潮文庫刊（電子版は小学館より刊行）

(2)課題図書の本文中から自分の表現したい部分を抽出し朗読してください。

ただし抽出は文頭から開始、文末で終了することとし、一切の改変をしないこと。省略や追加などのほか、一文途中の開始や終了も改変とみなします。

文中の（ ）「 」内も読むこと（「カッコ」などの発音は不要）。

(3)朗読の始めに①番号②学校名③氏名④作品名（『泥流地帯』『続泥流地帯』の別）⑤朗読する箇所の章名及び節番（節のない章は節番不要）を読み上げてください。

（<例>「1番、〇〇高等学校、上富太郎、続泥流地帯 村葬 第2節」など）

(4)予選の朗読時間は(3)を含め2分以上3分以内とします。ただし決勝の朗読時間は時間制限を設けません。

2 予選

(1)出場者は、先に届け出た抽出部分の原稿を朗読します。

(2)審査は4名で行います。

(3)予選の上位者（予選参加者数に応じ概ね20～30%を目途に別途決定）を決勝進出者とします。

3 予選審査基準

(1)審査の視点

(ア)抽出部分は適切か

※作品中にある差別的な表現などについては、文芸上の表現であり、そこを抽出したことで減点等の措置はしません。

(イ)抽出箇所を前後を含め物語をよく理解し、自身の解釈を加え表現できているか。

(ウ)内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。

・発声・発音・マイクの使い方

(エ)正しく意味を伝える表現ができているか。

・内容把握・イントネーション・言葉の立て方(プロミネンス)・アクセント

(オ)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(2)点数は100点法の1点刻みとし、(1)の区分ごとに採点します。

(3)4名の審査員が採点した審査点に基づき順位を決定します。予選通過ラインの順位に同点の者が複数ある場合は、審査員の合議により予選通過者を決定するものとします(ただし、若干名に限り既定の予選通過人数を越えて決勝進出者とする事ができるものとします)。

4 決勝

(1)出場者は、大会事務局が用意した課題原稿を朗読します。課題原稿は、1(1)の課題図書のうち、予選でいずれかの参加者が朗読した部分を除き、決定します。

課題原稿は、大会当日1週間～10日前をめどに公式ページにて該当箇所を公開します。大会当日においても受付でプログラムとともに配布します。

(2)審査は予選の審査員にゲスト審査員1名を加えた5名で行います。

5 決勝審査・表彰

(1)審査基準

審査基準は、予選審査基準に準じます(ただし予選審査基準(ア)を除く)。

(2)順位1位から順に最優秀賞1名、優秀賞2名以内を選出し、それ以外の者を入賞とします。

6 朗読部門規定違反

(1)±10秒を超える時間規程違反については、各審査員の点数から5点ずつ減点し、さらに大幅に超過した場合は失格とする場合があります。

(2)提出原稿の不備等については、大会中に大会本部で確認し、出場者に直接確認、修正等を求める場合があります(修正等による採点への影響はありません)。

(3)その他の規定違反等への対処については、大会本部で審議し決定します。